

社協たより

第181号
2019.3.1
点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/

いのちを守るために 今できること



直方市役所→

近年、全国各地で発生している豪雨災害の特徴や、遠賀川において平成30年7月豪雨(西日本豪雨)で観測史上最高水位を観測したことなどを踏まえ、インフラの重要性や、その効果を認識するとともに、ソフト対策により地域防災力を向上し、地域住民の的確な避難行動につなげることが求められています。

もくじ

- エンジョイ！ポッチャ！…………… 2
- お知らせ(第44回直方市ボランティアのつどい・寄付つき商品(焼きスパ)のお知らせ)…………… 4
- 地域の輪(のおがた障がい児・親子のつどい)…………… 3
- 情報の広場(航空機精神障害者割引)…………… 3
- 図書室(フーガはユーガ)…………… 3

平成30年7月、直方を襲った豪雨(西日本豪雨)で、遠賀川に一時決壊の危機が迫り、緊急避難指示の警報音が鳴り響いたことは、まだ記憶に新しい。

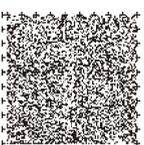
その年の12月、国土交通省遠賀川河川事務所は「災害(洪水)に関する意識調査」を、継続的に防災学習を実施している新町・知古・新入・西尾・植木地区で行った。学習効果の表れか、災害(洪水)に対する準備や備えは、さすがに高かった。しかし、今回の豪雨時には、「我が家は大丈夫」「避難が面倒だ」と考えて家にとどまる人が多く見られており、避難に対する意識改革が改めて問われている。

平成31年1月24日ユメニテイのおがたで、「九州防災・減災シンポジウムin遠賀川」が開催された。命を守る為に今やらなければならぬ災害への備えと、自助・共助による避難の大切さを、多くの参加者は身にしみて散会した。(広田)

kantera

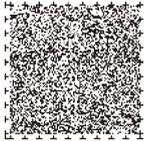
カンテラ

危機一髪の遠賀川



この社協たよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

エンジョイ! ポッチャ!



福岡県立直方特別支援学校 ポッチャ部

※ポッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

「参加できる大会があるだけでありがたい」

福岡県立直方特別支援学校のポッチャ部は、C部門（肢体不自由教育部門）の生徒11名（中学部4名・高等部7名）で、平成30年9月にスタートした新しい部活動です。現在は月に1〜2回の練習を行っています。

冒頭の言葉は、部が発足する以前にポッチャの大会に参加した際の、保護者の言葉です。その背景には肢体不自由教育部門の生徒たちは、小さい時から、かけっこや鬼ごっこなど、相手と駆け引きをする経験を積みむことが少なく、また、大会と名の付くものに参加する機会があまりない、という現実があります。そんな親の思いと、生徒たちの「ポッチャが好き!」という思いが、部活動としてスタートするきっかけとなりました。

練習では、競技技術を磨くのは当然ですが、どこに投げたら有利か? 攻め方・守り方はどうするか? などの駆け引きや作戦を、自分たちで意見を出し合いながら考えるトレーニングも行っていきます。また、ルールに沿ってゲームを展開していく中で、チームワークの取り方や、リーダーシップをとることの大切さなども学んでいきます。

現在、福岡県内中高生ポッチャ大会（レクリエーションの部）で2年連続優勝中! これからも楽しみながら活動を続けていきます!

インタビュー



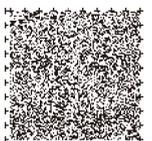
- Q お名前は? 何年生ですか?
 A 梶原真紀です。C部門（肢体不自由教育部門）高等部2年生です。
 Q ポッチャ部に入ったきっかけは?
 A 高1の時から授業で体験していました。今年部活になったことを聞いて、不安もあったけど、「やってみよう!」と勇気を出して参加しました。
 Q 今の課題は何ですか?
 A 緊張したり手が緩んだりすることもあるので、距離感をうまくつかめる様になりたいです。

- Q 今楽しいことは何ですか?
 A 学校に来ておしゃべりすることです。また、漢字検定にも挑戦しています。(現在4級!)
 Q 将来の夢は何ですか?
 A 車いすでもできる仕事を見つけたいです。これから具体的に考えていきたいと思っています。
 Q 最後に一言どうぞ
 A これからも試合に出場し、挑戦を続けていきたいと思っています!



インタビューに答える梶原真紀さん

ポッチャ部を見学して



福岡県立直方特別支援学校のクラブ活動ポッチャ部の見学と、同校C部門高等部2年生の梶原さんから話を聞く事が出来ました。どこに投げたら有利に得点し、更に相手チームにダメージを与える事が出来るのか、先生のアドバイスに従いつつ楽しんでいる様子は、ハンデを抱えている人たちとは思えませんでした。梶原さんも現在の楽しみや、将来の夢について静かに力強く話してくれました。笑顔が印象的で活動的な学生さんでした。

毎日の生活の中で、思い通りにならないと苛立つ事が多い自分ですが、尊い命を頂いている者同士、互いに尊重し助け合って社会に貢献していきたいと、今回の見学を通して思いました。

(石黒)



地域の輪

地域に根ざした独自の福祉活動を紹介します。

同じ悩みを持った方との交流を通して

「おがた障がい児・親子のつどい」

「障害がある子の子育てに奮闘する中、乳幼児健診や日頃の生活の中で、居づらさや、孤独感を感じ、将来への不安を抱えていました。同じような思いを持った親子が気軽に集まって交流できる場所が欲しいと望んだことをきっかけにして、まずは3組の親子で、昨年の春に交流を始めました。」

そう話してくださったのは『おがた障がい児・親子のつどい』の松尾さん・許斐さん・高橋さんです。同会は、直方市在住の0歳～小学生までの重度的障害児を持つ家族を対象として、毎月第4土曜日の10時～12時に、直方市総合福祉センター内の「おもちゃ図書館のおがた」に集まっています。

親は日々の生活や悩みを話しながら、情報交換などを行っており、子どもたちはその横でおもちゃで遊んでいます。

より多くの方との出会いを楽しみにして、「初めての所



みんなでワイワイ楽しく過ごします

は勇気がいるかもしれませんが、同じ障害児を育てる親同士です。どうぞお気軽にお越しください。」と呼びかけています。フェイスブックから、日頃の活動が閲覧できます。興味のある方は覗いてみてください。

「今後は、子どもが気兼ねなく安心して遊び回れる広さの会場や、支援ボランティア探し、きょうだい児の為の交流の場作りなど、様々な活動を模索していきたい。」と語って頂きました。

取材を通して、子どもへの深い愛情と、前向きな姿勢が印象に残ったと同時に、家に引きこもり、出会いを求めて「車いすの会」に入った、かつての自分を思い出ししました。(藤田)



Facebook ページ

情報の広場

国内航空会社の国内線 精神障害者も割引導入へ

全日空、日本航空グループ、スターフライヤーなどの国内航空会社は、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方を対象に、国内線で割引（最大半額）を実施しています。

一昨年4月に割引対象を拡大した西日本鉄道や昭和バスに続いて、これまで障害者割引の対象は、身体的障害者に限られていたところ、精神障害者にも拡大されました。

割引の詳細は、各国内航空会社へお問い合わせください。

●割引適用・国内航空会社

全日空、日本航空、スターフライヤー、天草エアライン、日本トランスオーシャン航空、ジェイエア、日本エアコミューター、スカイマーク、オリエンタルエアブリッジ、他



図書室



「フーガはユーガ」

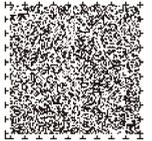
著者 伊坂 幸太郎
発行所 実業之日本社
直方市立図書館蔵

僕たちは双子で、僕たちは不運で、だけど僕たちは、手強い。前代未聞の不思議な設定の小説。

常盤優我と双子の弟・風我には、誕生日になると、2時間おきにお互いの位置が瞬間移動する特異体質がある。現象自体は超自然的でも、そこには明確な規則性があり、それが物語と関わってくる。

兄弟の目的は、ヒーローになること。倒すべき敵は、彼らの父親と同じ種類の人間。抵抗できない者の尊厳を、足の裏の角質でも取るかのように削り、平凡としている者たちだ。

2人はその力を使って、世の中の様々な悪意と対峙していく。鮮やかな結末で、あっけにとられないように、くれぐれも注意深くお読みを！ (広田)



第44回
直方市ボランティアのつどい

災害から命を守るう！
～みんなで助け合い～

災害時の対応や助け合いについて、障害児の親の支援や病院ボランティア、被災地支援ボランティア活動経験のある、NPOすきまの会代表、司城政行さん(防災士)にお話ししていただきます。

- 日時 平成31年3月23日(土)
13時30分～15時
- 会場 直方市総合福祉センター
(直方市大字山部616-145)
- 参加費 無料
- 主催 直方市ボランティア連絡協議会
直方市社会福祉協議会
- 共催 障がい者問題を考える直方市連絡会議
- お問い合わせ 直方市社会福祉協議会

福岡県共同募金会直方支会から
寄付つき商品(焼きスパ)のお知らせ

「じぶんのまちを良くするしくみ」として、赤い羽根共同募金では募金額の内、約75%を地域の身近な福祉活動に、約25%を広域の福祉活動や災害時のボランティア活動支援などに活用しています。

寄付つき商品とは文字どおり商品代金の一部が赤い羽根共同募金へ寄付される仕組みです。

平成31年2月1日から「こなやきっ廣」さんで寄付つき焼きスパが食べられることになりました！

直方グルメを食べて、直方が素敵なまちになるお手伝いのできるなんてワクワクしますね♪

現在「お好み焼きもすけ」さんでも寄付つき焼きスパを食べることが出来ます。美味しい焼きスパの食べ歩きツアーなんて、いかがでしょうか？

■こなやきっ廣(直方本店)

住所 直方市知古771-9
(サンリブのおがた前)
TEL 0949 (22) 8885
定休日 毎週水曜日(臨時定休日有)



■こなやきっ廣(感田店)

住所 直方市感田1204-3
(筑豊電気鉄道感田駅横)
TEL 0949 (26) 2882
定休日 毎週木曜日(臨時定休日有)



営業時間

平日 11:30～14:30
16:30～20:50
土・日・祝日 11:30～20:50

■お好み焼き もすけ

住所 直方市古町7-14
(JR直方駅から徒歩3～4分)
TEL 0949 (24) 1883



営業時間

平日 11:00～14:30
17:00～20:00
土・日・祝日 11:00～20:00
定休日 第3火曜日

- 植木 (故)見弓 信義
- 上新入 山部ハル子
- 植木 (故)次原 藤子
- 植木 (故)案納 義隆
- 山部 (故)三郎丸英規
- 植木 (故)有吉 徳重

香典返し寄付金

平成30年11月11日～平成31年2月10日
8件 合計金額 85,757円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

ご寄付ありがとうございます。



編集後記

35年前、知的障害のわが子に北小学校入学通知が届いた時は本当に嬉しかったです。

私たち家族には、「幼稚園、子ども劇場、家を開放してのおもしろ塾、公民館など地域でのお付き合いを通して、私たち家族を知って欲しい。」と言う強い思いがありました。

その頃、地域の学校への入学を望む障害児がなかなか受け入れてもらいにくい、「七歳の壁」と言われるものがありました。

子どもも親もFight！「入学おめでとうございませう。」(田中)

福岡県共同募金会直方市支会では、寄付つき商品としてご協力いただけるお店を探しています。興味があるお店はぜひご連絡ください。

■お問い合わせ■

福岡県共同募金会直方市支会
TEL 0949 (23) 2551
FAX 0949 (23) 2552

